

# 八潮南高校が編集しました



## 『工房 森のこかげ』を取材 八潮の名物“小松菜”を使った洋菓子

私たちは、市内にある『工房 森のこかげ』を取材しました。  
『工房 森のこかげ』では、知的障がいのある方が、パンやクッキーなどを製造し販売しています。現在のメンバーは、男性3人、女性8人の11人で、働いて2、3年目の方から、10年になる方もいらっしゃいました。職員のサポートを得ながら、皆さんで協力しながら作業を行っていました。  
お店の中はとてもきれいで、たくさんの種類のパンやクッキーなどが並んでいました。そして、工房は、衛生管理がしっかりしていて、働いている方一人ひとりがとてもいきいきとしている様子が印象的でした。



品物は、たくさんの種類がありました。販売所で売っているだけでなく、保育所のおやつ(クッキー)なども作っているそうです。



工房では、パンを作る方とクッキーを作る方に分かれて作業をしていました。作業台には、原料の一つである小松菜もたくさんありました。

働いている方に、お話を伺いました。  
Q. 作業で気をつけていることはありますか。  
A. 品物にばい菌などがつかないように、衛生面に気をつけています。  
Q. オススメの商品を教えてください。  
A. 小松菜を使ったパンや天然酵母のパンがおすすめです。お菓子では、ドライフルーツケーキやアーモンドスライスクッキーがおいしいです。  
次に、職員の方にもお話を伺いました。  
Q. 働いている方の様子はいかがですか。  
A. 苦手な仕事もありますが、粘り強くがんばり、私たちが諦めてしまいそうなことでも、彼らは最後までやります。  
Q. 商品のこだわりを教えてください。  
A. 種類が多いことです。また、商品の形や袋の詰め方などにもこだわり、丁寧に作っています。  
○取材を終えて  
今回、私たちは、森のこかげさんで製造作業の様子などを見せていただいたり、働いている方々にインタビューをさせていただき、たくさんのことを学ぶことができました。  
どんなことにも一生懸命で、お互いが助け合い、一つのことに集中し続けている、そのような光景を見て、私たちがもっと見習わなければいけないなと思いました。そして、私たち自身、元気をもらいました。



## 編集後記

【八潮南高校】  
3年 鈴木 花奈  
何から何まで初めてづくしで新鮮でした。八潮高校さんとも、話し合ったり、とても楽しく作業をすることができました。森のこかげさんをはじめ、八潮市には素敵な場所がたくさんあるんだなあと、八潮市が大好きになりました。  
2年 瀬筒 あゆみ  
広報「やしお」の編集をお手伝いさせていただいて、広報を作るのとはとても大変だということを知りました。編集を体験する中、人との関わりが多くできたと知り、八潮の知らないことを色々知ることができたので良かったです。  
2年 一柳 成沙  
普段関わることの出来ない方々との交流や、貴重なお話をたくさん聞く事ができました。自ら案を出し、インタビューをして記事を書く事は初めてで不安でしたが、満足いくものが出来ました。皆さんの方に最後まで目を通していただけたとうれしいです。  
2年 福田 彩乃  
約2カ月間、貴重な体験をさせていただきました。いっぱいみんなで悩んだりしましたが、それを乗り越えてこまめに編集できたうれしさは忘れません。広報「やしお」に勇気をいただきました。

【八潮高校】  
3年 長柴 妹花  
普段経験できない広報づくりができてとても楽しかったです。八潮南高校の生徒の方々と関わることができて、とても新鮮でした。  
工場に行ったり、市役所の方とも関わったり、人との出会いがたくさんあり、良い経験になりました。  
2年 清水 彩  
めったに経験できないような事を今回させてもらって、すごく楽しかったです。広報1面を作るのに、こんなに会議を何回もして、すごく大変だとわかりました。  
2年 前川 琴美  
初めての経験で、悩んだりしたけれど、みんなで一から作り上げていくという事は、達成感があり、とても充実したものでした。会議や市長との懇談会など本当に楽しかったです。  
2年 マイアン フオンタオ  
はじめての経験で広報をつくる時の基本的なことをたくさん知ることができ、楽しかったです。この広報で八潮高校のことをたくさんの人に知ってもらえたらと思っています。

